

沖縄海邦銀行

第76期 営業のご報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで
(2023.3 ミニディスクロージャー誌)



OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (2023年3月31日現在)

創 立	1949年5月1日
設 立	1964年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗* (うち出張所2店舗) *店舗内店舗方式 (ランチ・イン・ランチ) による移転を実施したことに伴い、店舗の 拠点数としては39拠点となっております。
従 業 員 数	786名
株 主 数	2,293名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
経営方針	… P 2
トピックス	… P 4
かいぎんSDGs宣言	
1. 自然環境の保全	… P 6
2. 地域経済の発展、持続的な成長	… P 8
3. 地域社会の活性化	… P 10
業績ハイライト	… P 12
第76期 財務諸表 (単体)	… P 14
第76期 財務諸表 (連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 新城一史

ごあいさつ

皆さまには、平素より沖縄海邦銀行をご利用、ご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。

さて、ここに2022年度(第76期)における営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いです。

2022年度の国内経済は、ウクライナ情勢の悪化に端を発した資源価格の高騰などにより厳しい経済環境が続いておりました。年度末にかけては経済活動の正常化を背景に、個人消費や設備投資の一部回復、資源価格上昇に一服感が出たことで、全体として持ち直しの動きが見られました。

県内経済についても、旅行需要喚起策の効果などから個人消費が緩やかに増加しており、持ち直しの動きが見られました。物価上昇の影響や人手不足などの不安材料が残るものの、国際線や大型クルーズ船の寄港再開によるインバウンド消費の回復により、景気の持ち直しが続くことが期待されます。

そうした中、地域金融機関においては地域の特性や企業ステージを踏まえ、お客さまに寄り添ったきめ細かい対応が求められています。資金繰り支援のみならず、本業支援や変化に適応していくための支援など、関係支援機関とのネットワークを活かしながら、事業者の実情に応じてより効果的に取り組んでいくことが重要であります。

当行は、このような環境のもと、お客さま支援に軸足を置いた活動を強化することを方針に掲げ、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」(計画期間：2022年4月～2025年3月)に取り組んでいます。これまで以上のスピード感を持ち、お客さま本位の良質な金融サービスの提供を行うことで、多様化するニーズに応えてまいります。そのために、これまで培ってきた事業者支援のノウハウを活かしながら、業務効率化による生産性向上や人的資本の最大化を図り「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指して全力で取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2023年6月

経営方針

経営理念

地域
密着

健全
経営

人材
育成

行動指針 KAIHO MINDS

ブランドスローガン

K A I H O
Kind Active Intelligence Honest Originality

Beyond the Bank
あなたの明日へ

第17次中期経営計画

(2022年4月～2025年3月)

第17次中期経営計画では、当行の強みであるフットワークを活かし、今まで以上のスピード感を持って多様なニーズに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組めます。

..... キャッチフレーズ

スピード&クイックレスポンス

..... 当行の目指す姿

お客さまのお役に立てる一番身近な銀行

..... 基本方針

あなたの明日へ全力支援

重点施策

御用聞き・コンサルティング営業の強化

リテール業務の強化・効率化 | 事務の省力化・軽量化・省人化

多様な人材が活躍できる体制づくり | お客さまチャンネル多様化への対応

お客さま本位

ガバナンス

コンプライアンス

リスク管理

SDGs

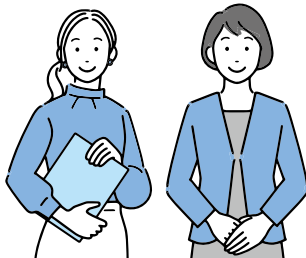
トピックス

2022年11月28日

ビジネススタイル導入

役職員一人ひとりの多様性を活かした働きやすい職場づくりのため、女性行員の制服を廃止し、ビジネススタイルを導入しました。

「安心、信頼、清潔」を基本とした企業イメージを保持しつつ、自由な服装で勤務することで、固定概念に捉われず柔軟に対応できる組織風土の醸成を目指します。



2023年2月7日

株式会社琉球銀行との共同出資会社 「ゆいパートナーサービス株式会社」を設立

当行と琉球銀行は、共通の課題となっているバックオフィス業務の経費削減に向けた検討を進めております。2023年2月7日に、両行の共同出資により「ゆいパートナーサービス株式会社」を設立しました。

今後は、両行の現金輸送やメール便配送などの業務を同社へ委託し、コスト削減やCO₂排出量削減を目指します。



2023年2月27日

「沖縄海邦銀行アプリ」にベンリな機能を追加！

2022年8月から提供している個人のお客さま向けスマートフォンアプリにベンリな機能を追加しました。これまでの通帳機能(残高照会、入出金明細照会)に加え、口座開設や住所・電話番号の変更、ローンの申込みなどもご利用いただけるようになりました。

スマホから
カンタン
申し込み！

ダウンロードはこちらから！



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play





1.自然環境の保全

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



みどりの運動

当行は、1974年から長年にわたり「みどりの運動」を展開しています。
「沖縄をみどりの島に！緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、
郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。

みどりの講演会

新型コロナ感染拡大防止の観点から中止していた「みどりの講演会」を再開いたしました。当行本店にて毎月第4金曜日に開催し、参加者には苗木の無料配布を行っています。

待望の再開!



みどりの募金

みどりの運動に賛同して下さったお客さまや役職員からの募金による寄付活動を行っています。みどりの募金への寄付は、みどりの運動が発足した1974年から49年間にわたり続けています。

これまでの募金総額は1億1500万円に達し、皆様のご厚意は、さまざまな緑・森林づくりに活用されています。



育樹活動

2022年12月3日、糸満市の沖縄県平和創造の森公園内に造成された「かいじん平和の森」において、第6回目の「育樹祭」を開催し、多くの役職員が参加しました。



- ▶「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。
- ▶「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。

世界自然遺産 登録1周年記念



やんばるビーチクリーンへの参加

2022年10月8日、世界自然遺産推進共同企業体主催の「やんばるビーチクリーン」に、当行の職員も参加し、海洋環境の改善に努めました。



沖縄花のカーニバルへ寄贈

第40回「沖縄花のカーニバル2023」へプランター100鉢を寄贈しました。寄贈したプランターは首里城や海中道路など県内各所の観光施設に設置されています。



20周年!

チーム 美らサンゴへの参加



当行は2005年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生保全活動に取り組んでいます。「サンゴ」の語呂にちなんだ2023年3月5日、恩納村久良波海岸のビーチクリーン活動に参加しました。



チーム美らサンゴは
おかげさまで20周年

自分たちの手でサンゴを植え付け、
かつての水中景観を取り戻したい!

チーム美らサンゴは、沖縄県環境文化財団が主催するサンゴ礁再生保全活動の中心として、
沖縄県環境文化財団と連携して、県内各地でサンゴ礁再生保全活動を行っています。
ご参加をお待ちしています。

沖縄県環境文化財団 環境文化財団 環境文化財団 環境文化財団 環境文化財団



2.地域経済の発展、持続的な成長

TBBの活動について

TBB Team Beyond the Bank ~TBBの活動~

当行では、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を実現するために「TBB」(Team Beyond the Bank)を結成しています。

TBBは銀行業務の枠組みを超えた新しい形での顧客支援として、中小企業・外部支援機関・コンサル会社に行員の派遣を受け入れていただき、中小企業が持つ課題や描くビジョンについて共に考え、一緒に未来を創り上げていく活動をしています。私たちはお客さまと同じ目線に立ち、真に求められるサービスを提供することでお互いに信頼しあえる関係性の構築を目指しています。



TBB 活動理念 (4C)

- Challenge** 前例のないことに挑戦していく
- Creative** かいぎんの新たな未来を見出し、文化を創り出す
- Change** あらゆる環境で、知見を深め、魅力ある人材に変わっていく
- Connect** かいぎん、お客さま、外部機関あらゆる角度で繋げていく

銀行の枠を超えた新たなサービスの創造



コンサル会社とのミーティング



外部支援機関との連携



中小企業経営支援

▶お客さまの企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。

経営者向けセミナー 「山元塾」を開催

2022年10月から6か月間にわたって、アップルジャパン元社長である山元賢治氏を講師に招き、ブルームーンパートナーズ株式会社と経営者向けセミナーを共同開催しました。

リーダーに必要な要素を学ぶ参加型のセミナーであり、講義や討議をとおして経営者層同士の交流も深まり、ご好評をいただきました。

全6回開催!
大盛況!



DX関連セミナーを開催

2023年 2月1日

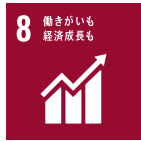
税理士法人アーリークロスと共同で、飲食業・小売業などの店舗経営者向けに「かいぎんDXセミナー」を開催しました。店舗のバックオフィスDXについて導入事例やインボイス対応をまじえて説明し、セミナー後には参加企業から個別相談もいただいております。



2023年 2月16日



中小企業家同友会中部支部と共同で、「業務効率化・業務DX化の勉強会」を開催しました。キャッシュレス決済やPOSレジについて説明があり、参加者は熱心に受講していました。



3.地域社会の活性化

県内イベントに協賛

2022年10月から11月に開催された「美ら島おきなわ文化祭2022」と「第7回世界のウチナーンチュ大会」に協賛金を贈呈しました。開催期間中は、県内各地で様々なイベントが行われ、国内外から多くの方が沖縄を訪れました。



フードバンクに物資寄贈

行員が各家庭から持ち寄った食料品や衣類などを「よみたんフードバンク」に寄贈しました。寄贈品は読谷内の地域支え合い活動に活用されます。



NAHAマラソンへボランティア参加

2022年12月4日に開催された「第36回NAHAマラソン」に走路安全係ボランティアとして参加しました。また、沿道でジョガーに熱い声援を送り、大会を盛り上げました。





- ▶地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。
- ▶沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。

海邦銀行ジュニア サッカーフェスティバル

2022年11月6日、タピック県総ひやごんスタジアムにて、ジュニアサッカーフェスティバルを開催しました。海邦銀行サッカークラブの選手による技術指導も行われ、大盛況となりました。



春の甲子園



沖縄尚学高等学校へ 寄付金贈呈

第95回記念選抜高等学校野球大会に出場する沖縄尚学高等学校に派遣費用の助成として、当行および海銀ボランティア基金（海邦コーラル倶楽部）から寄付金を贈呈しました。



沖縄海邦銀行杯争奪 中学校軟式野球大会



沖縄県野球連盟に「第30回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会」の協賛金を贈呈しました。当行は1994年から、スポーツを通じて地域振興・青少年の健全育成を目的に毎年協賛しています。



業績ハイライト (単体)

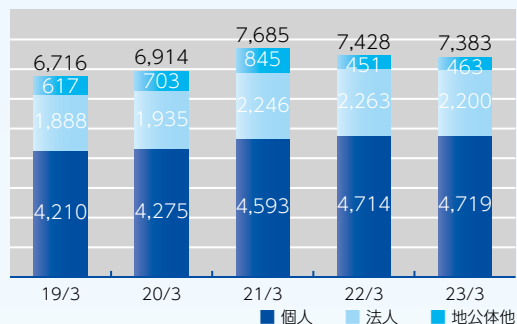
預金

7,383 億円

預金残高は、個人預金および地方公共団体その他預金は増加しましたが、法人預金の減少により、前年比45億48百万円減少の7,383億23百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



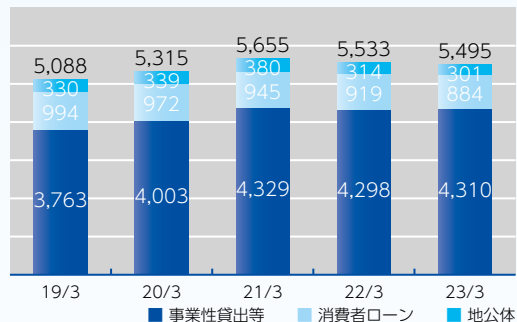
貸出金

5,495 億円

貸出金残高は、事業性貸出は増加したものの消費者ローンおよび地方公共団体向け貸出が減少したことにより、前年比37億47百万円減少の5,495億58百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



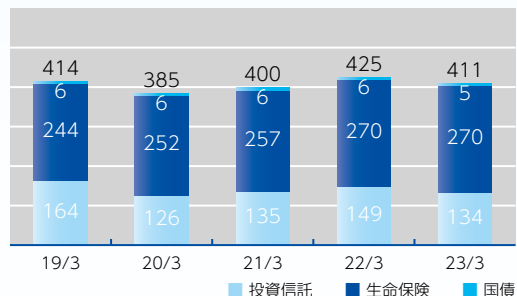
預かり資産

411 億円

預かり資産残高は、主に投資信託において販売額が減少したことや、一部銘柄に基準価額の減少が見られたことなどから、前年比14億50百万円減少の411億31百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

21 億円

経常利益は、貸出金利息収入は減少しましたが有価証券利息配当金の増加に加えて、物件費や個別貸倒引当金繰入額が減少したことなどから、前年比11億55百万円増加の21億60百万円となりました。当期純利益は、前年比11億18百万円増加の18億37百万円となりました。

コア業務純益

17 億円

コア業務純益は、貸出金利息収入は減少しましたが営業経費の減少などから、前年比24百万円増加の17億97百万円となりました。

自己資本比率

9.10%

自己資本比率は、利益の積み増しによる自己資本の増加とリスクアセットの減少により、前年比0.52ポイント上昇の9.10%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

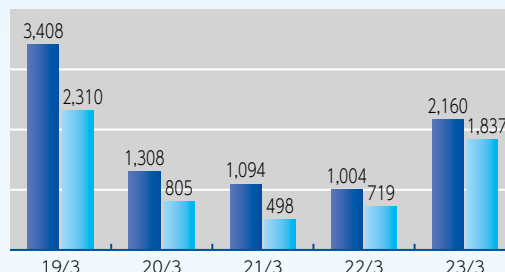
■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

経常利益・当期純利益

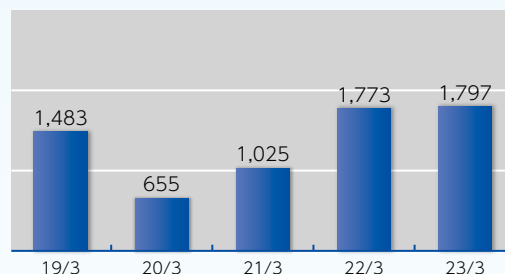
■ 経常利益 ■ 当期純利益

(単位:百万円)



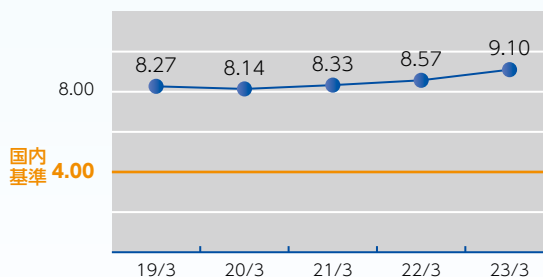
コア業務純益

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



第76期財務諸表（単体）

貸借対照表（2023年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	78,054
コールローン	-
有価証券	180,619
貸出金	549,558
外国為替	-
その他資産	6,727
有形固定資産	8,321
無形固定資産	703
前払年金費用	857
支払承諾見返	1,870
貸倒引当金	△ 3,372
資産の部合計	824,058
(負債の部)	
預金	738,323
借入金	36,000
外国為替	-
その他負債	4,157
賞与引当金	321
退職給付引当金	300
役員退職慰労引当金	108
睡眠預金払戻損失引当金	6
偶発損失引当金	76
繰延税金負債	-
支払承諾	1,870
負債の部合計	781,164
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	35,330
自己株式	△ 28
株主資本合計	43,059
その他有価証券評価差額金	△ 165
評価・換算差額等合計	△ 165
純資産の部合計	42,894
負債及び純資産の部合計	824,058

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	12,504
資金運用収益	10,553
うち貸出金利息	9,499
うち有価証券利息配当金	876
役員取引等収益	1,286
その他業務収益	126
その他経常収益	537
経常費用	10,344
資金調達費用	42
うち預金利息	59
うちコールマネー利息	△27
うちその他の支払利息	10
役員取引等費用	1,020
その他業務費用	30
営業経費	9,005
その他経常費用	245
経常利益	2,160
特別利益	309
移転補償金	266
特別損失	105
税引前当期純利益	2,364
法人税、住民税及び事業税	524
法人税等調整額	1
法人税等合計	526
当期純利益	1,837

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第76期財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (2023年3月31日)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	78,054
コールローン及び買入手形	-
有価証券	180,534
貸出金	549,558
外国為替	-
その他資産	6,777
有形固定資産	8,321
無形固定資産	704
退職給付に係る資産	881
繰延税金資産	710
支払承諾見返	1,870
貸倒引当金	△ 3,372
資産の部合計	824,041
(負債の部)	
預金	738,169
借入金	36,000
外国為替	-
その他負債	4,151
賞与引当金	324
退職給付に係る負債	296
役員退職慰労引当金	108
睡眠預金払戻損失引当金	6
利息返還損失引当金	1
偶発損失引当金	76
繰延税金負債	-
支払承諾	1,870
負債の部合計	781,006
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	35,416
自己株式	△ 28
株主資本合計	43,144
その他有価証券評価差額金	△ 165
退職給付に係る調整累計額	19
その他の包括利益累計額合計	△ 145
非支配株主持分	35
純資産の部合計	43,035
負債及び純資産の部合計	824,041

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	
資金運用収益	10,553
うち貸出金利息	9,499
うち有価証券利息配当金	876
役務取引等収益	1,344
その他業務収益	126
その他経常収益	530
経常費用	10,384
資金調達費用	42
うち預金利息	59
うちコールマネー利息及び売渡手形利息	△ 27
うちその他の支払利息	10
役務取引等費用	1,021
その他業務費用	30
営業経費	9,009
その他経常費用	280
経常利益	2,171
特別利益	309
固定資産処分益	42
移転補償金	266
特別損失	105
固定資産処分損	32
減損損失	72
税金等調整前当期純利益	2,375
法人税・住民税及び事業税	526
法人税等調整額	2
法人税等合計	528
当期純利益	1,846
非支配株主に帰属する当期純利益	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,845

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
当期純利益	1,846
その他の包括利益	△ 1,814
その他有価証券評価差額金	△ 1,721
退職給付に係る調整額	△ 93
包括利益	32
親会社株主に係る包括利益	31
非支配株主に係る包括利益	0

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員、株式のご案内

役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役頭取	しん じょう かず ひみ 新 城 一 史
代表取締役専務	こ じょう せい いちろう 湖 城 誠一郎
常務取締役	おお しろ まさ と 大 城 昌 人
常務取締役	さき はら まさ き 崎 原 正 樹
取締役	ひら かわ まちる 平 川 衛
取締役	みや お なお こ 宮 尾 尚 子
取締役	にし ざと よし あき 西 里 喜 明
常勤監査役	ほか ま まさ やす 外 間 政 康
監査役	おお みね みつる 大 嶺 満
監査役	う え ず と も か ず 上江洲 智 一

(注) 取締役 宮尾 尚子及び取締役 西里 喜明は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注) 監査役 大嶺 満及び監査役 上江洲 智一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

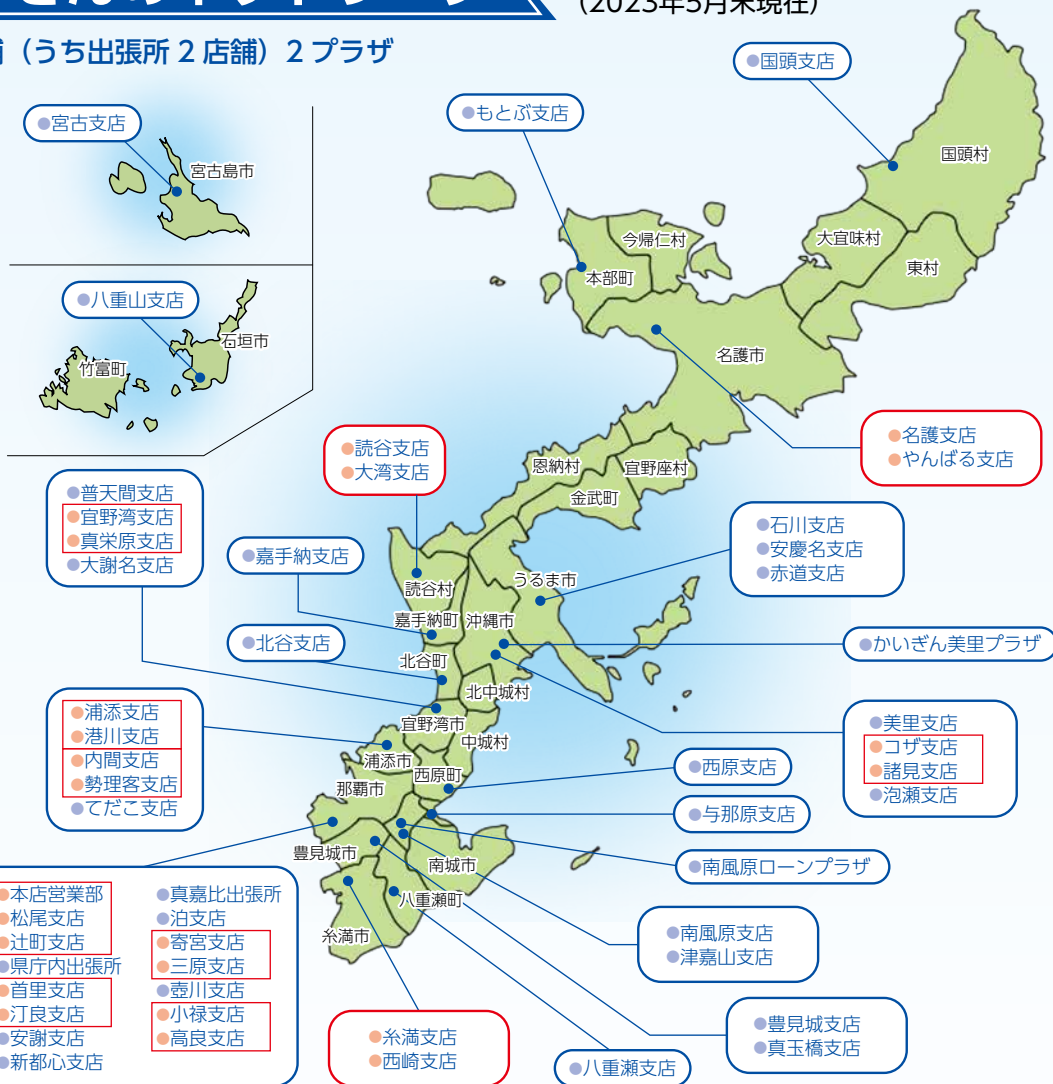
株式のご案内 (2023年3月31日現在)

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配 当 金 支 払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円
マイナンバーのお届出	株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要となります。 お届出がお済みでない株主さまは、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。 【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ○証券口座にて株式を管理されている場合 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ○証券会社とのお取引がない場合 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

かいぎんのネットワーク

(2023年5月末現在)

50店舗 (うち出張所 2店舗) 2プラザ



●△△支店 ●△△支店 ●△△支店 ●△△支店 …店舗内店舗実施店

店舗内店舗 (ブランチ・イン・ブランチ) とは

複数の営業店が1つの建物を併用して営業を行う店舗形態です。移転する店舗(子店)は廃止にならないため、移転後も店名・店番・口座番号の変更はございません。移転先の店舗(母店)の窓口は共通窓口として、いずれの支店のお取引も可能です。

プラザのご案内

南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

かいぎん美里プラザ：☎0120-78-8722

○盗難・紛失などのトラブルはここにお電話ください

沖縄海邦銀行ATM監視センター【24時間対応】 0120-811-335

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2023年6月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 Tel.098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ

OKINAWA
KAIHO 海邦銀行



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。